

取組名称	築150年超の古民家に最新省エネ技術を融合して再生！『ブランシエラ ヴィラ 明日香』			団体設立後の経過年数	2年8か月
応募取組主体名称	株式会社 長谷エヴィレッジライフ	活動地域	奈良県高市郡 明日香村	応募取組の活動年数	開業2年目
取組主体の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 / <input type="checkbox"/> 学校 / <input type="checkbox"/> NPO・任意団体 / <input type="checkbox"/> 自治体 / <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ / <input type="checkbox"/> 個人 / <input type="checkbox"/> ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	<input checked="" type="checkbox"/> サステナブルデザイン賞 / <input type="checkbox"/> 子どもエンパワーメント賞 / <input type="checkbox"/> 環境と福祉賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境地域ブランディング賞 / <input type="checkbox"/> 環境ひとつくり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境社会イノベーション賞 / <input type="checkbox"/> 地球と人への想いやり賞 / <input type="checkbox"/> SDGsビジネス賞 / <input type="checkbox"/> EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨	<p>「ブランシエラ」には「時代を切り開いていく」という意味が込められています。私たちは「都市と人間の最適な生活環境を創造し、社会に貢献する」ことをテーマに、地球環境問題に貢献するため、様々な提案や開発を実施することで、省エネだけでなく地域への貢献を目指しています。明日香村古民家再生プロジェクトでは、飛鳥坐神社（あすかにいますじんじゃ）参道に北面して建つ「厨子二階建て」（築約150年）の古民家を、建物を維持保全しつつ、最新の省エネ技術を導入して新たに快適で省エネな宿泊施設として再生しました。</p>
実績の要旨	<p>明日香村との官民連携協定に基づく活性化施策の中で、村内課題の空き家対策として空き家バンク登録の古民家を取得。建物を維持保全しつつ、明日香村を経験し堪能できる宿泊施設に再生。断熱性能に劣る古民家に、床からの冷気を遮断し省エネ大賞を受賞した新型床暖房システムを導入、また既存の井戸を活用し、浴槽の水源だけでなく年間を通じて温度変化の少ない地下水の熱を利用した空調と、熱回収した水を庭の水景に利用。施工は、村内、近隣の施工会社にご協力いただき、運営では村内スタッフ雇用・村内飲食店利用など地域貢献を実現しています。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	井戸水・熱利用の空調設備や省エネ床暖房など、最新の省エネ技術を導入。通常の空調と比較して約15%の省エネを実現しました。
	社会・経済への貢献	清掃・食事配送等のスタッフは全て近隣住民を採用し新たな雇用を創出。また、村内施設や飲食店舗への送客連携を実現しました。
	地域資源の活用	既存の井戸水を熱源に活用し高効率な空調を実現。また、浴槽・水景の水源として活用。庭園の植栽・庭石は全て村内から調達しました。
	普及・汎用性	地域貢献と快適性・省エネを両立した古民家再生手法は、明日香村のみならず全国に点在する古民家の活用に寄与します。
	革新・ユニーク性	古民家の良き雰囲気を残しつつ、断熱性能に劣る古民家に適した省エネ技術を導入し、既存井戸の水・熱利用に着目しました。
	継続性	明日香村古民家再生プロジェクトを契機に設立した「長谷エヴィレッジライフ」により、宿泊事業や地域活性化事業を包括的に推進します。

展望の要旨	2017年9月 明日香村及び(一財)明日香村地域振興公社と(株)長谷エコーポレーションが締結した官民連携に関する包括協定を軸に、更なる発展を目指します。
-------	--